



深いイイ話始めました

毎週月曜日の朝学習では、校長の話聞いて原稿用紙に感想を書く活動『校長先生の深いイイ話』を行っています。（1年生はしっかり聞いて、2学期以降に書き始める予定です。）

今回は、「成功の反対はどんな言葉かな？」という問いかけから話を始めました。

辞書には、成功の反対は「失敗」と書いてあります。しかし失敗は挑戦した結果であり、挑戦したことを周りのみんなが認め合えるクラスであってほしいということや、挑戦の反対は、失敗ではなく「何もしないこと」だという私の考えを話しました。そして、最後に次のようなメッセージを伝えました。

挑戦の結果は、成功することもあるけれど、失敗に終わることもあります。しかし挑戦しなければ、目指す目標には届きません。

挑戦して間違えた答えを発表しても、上手に泳げなくても、挑戦している友だちに「ナイスライ！」と褒められる佐良山小学校にしていきたいと思います！

放送を聞いて感想を書く活動は、子どもたちにとって初めての経験だと思います。それでも、多くの子どもたちが集中して書いていました。

私の話を聞いて子どもたちは何を感じたのか、子どもたちの作文を紹介します。

友だちがしっばいしても、ぜったいに笑ってはいけないなと思った。もし、友だちがしっばいしても、「ナイスライ！」とほめてあげようと思った。しっばいするということは、ちゃんをしているしょうこだなと思った。（低学年）

私は校長先生の話聞いて思いました。私はずっと、成功の反対は失敗だと思っていました。でも、校長先生は、成功の反対は何もしない事と言っていました。校長先生の話聞いて、少し違うのかなと思いました。でも考えていくうちに、校長先生の考えも良いなと思うようになりました。挑戦は良いことだとあらためて思いました。でも私は、成功の反対は失敗

だと思います。理由は、気持ちが逆だと思うからです。成功は嬉しいし、失敗は悔しい、でも何もしないは何も感じないと思います。（高学年）

私の話を聞いて感じたことや考えたことを「アウトプット」することは、心の成長につながると共に、前向きに行動しようとする土台を築くことができると考えています。高学年の子どもたちの作文は、私の思いを受け止めた上で、自分の考えと比較しています。この思考の過程を書き留めることで、挑戦することへの意欲がさらに高まるのではないかと期待しています。

聞く力と、表現力が同時に鍛えられるこのような活動に今後も重点的に取り組んでいきたいと思っています。私も、子どもたちの心に響く話ができるよう、日々精進してまいりたいと思います。校長賞、教頭賞に選ばれた児童は、職員室で表彰し、作品は職員玄関横に掲示しております。来校の際は、是非ご覧下さい。（裏面には、第2回の深いイイ話を掲載しております。よろしければご覧ください。）



家族でルールを決めましょう！

今年度のメディアコントロール週間では、家庭で「スマホ・ゲーム・メディアのルール」と「家庭学習のルール」を話し合い決めていただきました。話し合ったルールを守るよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。（裏面には、令和7年度スマホ等の実態調査の結果の一部を掲載しております。）

7月～8月の行事予定

ホームページに行事予定を掲載しております。

2学期の下校時刻も7月中に掲載する予定です。合わせてご確認ください。



裏面あります

◆令和7年度スマホ等の利用に関する実態調査の結果
について（津山市）対象：5年生、中学2年生（計1687人）

【スマホ等の所持率】 小学校63.3% 中学校90.5%
【家庭のルールがある】 小学校64.7% 中学校55.9%
【家庭のルールが守れているか】 小学校47.8% 中学校44.9%
【平日1日のスマホ等を3時間以上利用】 小学校31.7% 中学校48.2%
【スマホ、ネット、ゲーム機等の利用のため減った時間がある※】 小学校23.5% 中学校30.1%
※上位3項目
小学校 ①テレビをみる時間 ②睡眠時間 ③運動の時間
中学校 ①学習時間 ②睡眠時間 ③テレビを見る時間
【インターネットやSNSを利用することで悩みや負担がある】
小学校16.8% 中学校20.1%（小・中ともに令和6年度から6%以上増加）
【インターネットやSNSを利用することで嫌な経験がある※】
小学校9.8% 中学校9.5%
※上位3項目
小学校 ①ゲームの中でのトラブル ②書き込んだ内容が誤解された ③悪口や嫌なことを書かれた
中学校 ①書き込んだ内容が誤解された ②個人情報や写真を無断で流された
③メール、SNS等をしつこく送られた
【保護者のスマホ等から使用時間やアプリの制限（ペアレンタルコントロール）をされている】
小学校30.5% 中学校35.6%

詳しくは、津山市教育委員会のHPをご覧ください。使い方のルールについて、今一度、ご家庭で話し合っていた
だきたいと思います。また、ネット社会には危険な面もあることについても是非ご指導ください。

◆深いイイ話（6月30日）

「面倒くさい」

1 つい言っちゃう言葉

今日は、「面倒くさい」という言葉について話します。みなさんは、「面倒くさいなあ」と言ったことがありますか？きっと、ほとんどの人は「面倒くさいなあ〜」と言ったことがあるのではないのでしょうか？校長先生も、言うことがあります。さて、ここでちょっとみなさんに聞いてみますね。「面倒くさいなあ」と言った後、どうしますか？次の2つから選んでください。手は挙げなくていいです。心の中で1番か2番かを選んでください。

①「面倒くさいなあ」と言った後、面倒なことはしないことが多い。②「面倒くさいなあ」と言った後、面倒なことをすることが多い。

2 宮崎駿監督の話

みなさんの目の前には、「千と千尋の神隠し」の画像が映し出されていますね。見たことがある人も多いと思います。このアニメを作った人は宮崎駿さんと言います。宮崎駿さんは、『となりのトトロ』や『千と千尋の神隠し』など、たくさん的人气アニメ映画を作った有名な監督です。自然や夢のような世界を大切に物語を作るのが得意です。世界中の人に愛されているアニメの名人です。

宮崎駿さんは、このような絵を何枚も何枚も描き続けます。調べてみると、ジブリ作品一つに、このような絵が少なくとも5万枚以上必要だそうです。大変な作業ですね。この絵を描いている宮崎駿さんも、絵を描きながら「面倒くさいなあ」とつぶやいているそうです。しかし、絵を描くことをやめることはありません。面倒くさいという自分の気持ちと常に戦っているそうです。宮崎駿さんは、あるテレビ番組で次のような言葉を言っておられました。

「世の中の大事なことで、たいてい面倒くさいんだよ。」

校長先生は、この言葉が大好きです。私たちの身の回りの大切なことは、面倒くさいことがたくさんあります。勉強、後片付け、お手伝い、掃除、友だちと喧嘩した後、兄弟に宿題を教えてあげる・・・など人によって面倒くさいことは違いますが、面倒くさいという自分の気持ちと戦うことで、面倒くさい自分を乗り越えることができます。面倒くさいと思ってもいいのです。その気持ちと戦いながら、面倒くさいことをがんばることで必ず良いことが待っています。

「面倒くさいけど、やろう！」が自分を成長させます。面倒くさいなあと思った時に、今日の話を思い出してくれたら嬉しいです。